

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第267日 - 268日

英語版はソフィア・オリニクさんとマリヤナ・ザヴィシカさんによって作成されました。

攻撃を受けている都 11月17日の朝、ロシア軍は再びウクライナを大規模に砲撃しました。11月17日、ロシアはウクライナ東部のガス生産インフラに大規模な攻撃を受けました。ドニプロペトロフスク州。11月16日の夜、ロシアの侵略者はニコポリ市を砲撃し、10の民家、車、ガスパイプライン、送電線などが被害を受けました。次の夜、ニコポリは再び激しい攻撃を受けました。その結果、20の住宅と民家、大学、車、ガスパイプライン、送電線などが被害を受けました。朝、ロシア軍はドニプロ市を攻撃しました。砲撃の結果、工業企業で火災が発生しました。近くの住宅も被害を受けました。攻撃の結果、23人が負傷しました。

ハルキウ州。11月16日の夜、ロシア軍はヴォウチャンスクを攻撃しました。その結果、少なくとも12の民家が被害を受けました。午前、ロシアの侵略者は、イジウム地区の重要なインフラストラクチャにミサイル攻撃を開始しました。その結果、施設の労働者の3人が負傷しました。ザポリージャ州。11月17日、ロシアの侵略者は、ビリニャンスク地区の入ミサイル攻撃を開始しました。3発のロケット弾が民間の建物を命中して爆発しました。3階建ての建物が全壊し、7人が死亡しました。

ポーランド ウクライナの専門家は、11月15日に発生し、ポーランドで2人が死亡したミサイル落下の状況の調査に参加することを許可されました。ウクライナ外務大臣は、ウクライナと米国は、ロシアがミサイルテロの全責任を負うことに同意したと報告しました。欧州連合のすべての加盟国は、ロシアがポーランドへのミサイル攻撃の責任を負っているとの信念を表明しています。ポーランドのマテウシュ・モラヴィエツキ首相は、ウクライナとポーランドの関係を悪化させることを目的とした、ロシアによる挑発が想定されていると述べました。ウクライナへの大規模な砲撃とポーランドでのミサイル落下に特化した国連安全保障理事会の会議で、ロシアの国連常駐代表であるヴァンリー・ネベンジャは、ウクライナとポーランドがロシアとNATOを戦争に持ち込むと述べました。

外交政策。11月15日、チェコ議会はロシア政権をテロリストと認定しました。国会議員は、ウクライナの民間人への攻撃と国の重要なエネルギーインフラへの攻撃を非難しました。これは、民間人を威嚇することによって政治的目標を達成しようとする明らかな試みであり、テロリストの方法に対応しています。

カナダのトルドー首相は、カナダのウクライナ兵の訓練任務を2023年末まで延長しました。

ウクライナ議会は、もっぱらテロ目的を持っているウクライナの人口とエネルギーインフラの意図的な絶滅の事実のために、G20諸国にロシアをグループから除外するよう訴えました。さらに、11月16日、G20の首脳はインドネシアでの首脳会議で決議を採択し、その中でロシアのウクライナに対する侵略を「強く非難」しました。一方、NATO諸国、EU、日本は、11月15日のロシアによるウクライナへの大規模なミサイル攻撃を非難し、ウクライナへの支持と、ロシアに侵略の責任を問う用意があることも確認しました。

ハンガリーがイランとの経済協力を開始。ハンガリーのピーター・シヤルト外務大臣は、このようにして「中東の状況を正常化」したいと述べました。

イスラエルは、NATO加盟国に対し、ウクライナに独自に製造した火器管制システムと電気光学システムの武器を供給する許可を与えました。さらにイスラエルは、ウクライナの軍事作戦のために数百万ドル相当の「戦略物資」の購入に資金を提供することに同意しました。

人権 占領解の間、警察官は、ロシアの侵略者から解放されたドネツク、ムィコラーイウ、ハルキウ、ヘルソン州の領土で、991人の民間人の死体を発見しました。また、これらの地域では3,559件の戦争犯罪が記録されています。ヘルソンでは、別の拷問部屋を発見しました。そこでは、ロシアの占領者に協力することを拒否した地元住民が拘束され、拷問を受けていました。

11月16日現在、ウクライナへの本格的な侵攻が始まって以来、ウクライナでは280人の子供が行方不明になっていると報告されております。国家情報局によると、11,129人の子供が不法にロシアに強制送還されました。そのうちの103人の子供だけがウクライナに返還されました。

食糧安全保障 11月17日、「穀物イニシアチブ」を120日間延長することが決定されました。国連とトルコは、イニシアチブの保証人であり続けました。同日、アントニオ・グテーレス国連事務総長は、ロシア連邦からの穀物と肥料の輸出に対する障害を取り除く必要があると述べました。同じ要求が以前にロシア連邦によって発表されました。

戦争犯罪の訴追 ハーグ地方裁判所は、アムステルダムからクアラルンプールへのMH17便を飛行中のボーイング777飛行機の墜落を含む事件で、ロシア国籍のイゴール・ギルキン（ストレルコフ）、セルゲイ・ドゥビンスキー、およびウクライナ国籍のレオニード・ハルチェンコに有罪判決を下し、欠席裁判で刑務所終身刑を言い渡しました。

しかし、ロシアは、マレーシアのボーイング777便MH17便の墜落事件におけるハーグ地方裁判所の判決を認めず、裁判所の判決を「政治的動機」と呼びました。

エネルギーセキュリティー ロシア連邦大統領報道官ドミトリー・ペスコフは、ミサイル攻撃は、ウクライナの軍事力に直接的または間接的に関連するインフラ施設に対して行われていると述べました。彼はまた、攻撃がウクライナ側の交渉への参加への不本意に関連していることを強調しました。

これに対し、ウクライナ外務省のオレグ・ニコレンコ報道官は次のように述べました。「ドミトリー・ペスコフは、ウクライナに交渉を促すため

に、ロシアがウクライナの重要インフラを破壊していることを認めました。これがISISのテロリストの振る舞いです。彼らは、罪のない人々を殺して、要求を満たすのです。ロシアはテロ国家として行動しています」。

IAEAは、ウクライナのエネルギーインフラに対する最近のロシアのミサイル攻撃に関連して、通常の運用に外部電力を必要とするすべてのウクライナの核施設で事故のリスクが**高まっている**と報告しました。また、攻撃の結果、ウクライナの各地域で毎時または緊急の**停電が発生**しました。時間にもよりますが、200万から400万人が電気のないままです。ウクライナの民間エネルギーインフラに対するロシアの繰り返しの攻撃に対応して、ドイツ連邦外務省は、ウクライナのエネルギー支援基金に寄付される緊急支援として100万ユーロを**確保**しています。

国連の核監視機関の35カ国の理事会は木曜日、ウクライナでのロシアの戦争勃発以来3回目の決議を可決し、ロシアに対し、ウクライナの核施設でのすべての行動を停止するよう**求めました**。

制裁 カナダは、イランの人権侵害と国際安全保障の不安定化に責任を負うイランの当局者と機関に対して**制裁を課しました**。ウクライナとの戦争でロシアが使用する神風無人機の製造業者は、制裁を受けました。

デジタルセキュリティ。210台の「スターリンク」ターミナルが解放された**ヘルソン**に届けられました。端末の最初のバッチにより、市内で5つの公衆 Wi-Fi ポイントが開始されました。

ゼレンスキー大統領は、戦争の8か月間に、ウクライナは1300件以上のサイバー攻撃を撃退したと報告しました。

文化 ハリウッド映画製作会社ワーナー・ブラザーズ・ピクチャーズは、ナショナル・メディア・グループの一部であるロシアのテレビチャンネルによる映画の放送を**禁止**しました。

スポーツ ロシアとベラルーシは、国際パラリンピック委員会の会員資格を**停止**されました。

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年11月18日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約 83,460人、戦車 2879台、装甲戦闘車両 (APV) 5,808台、砲兵システム 1865台、多連装ロケットシステム (MLRS) 393台、対空戦システム 209台、固定翼航空機 278台、ヘリコプター 261台、軽装甲車 4,227台、ボートおよび軽装ボート 16台、運用戦術レベル UAV 1536台、特殊装備 161台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 399台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- 戦争中の性的暴力の被害者を支援するNGO「**Sylni**」(日本語で「強い」)を支援してください。
- **ボランティア翻訳者**としてSharetheTruthsプロジェクトを支援してください。
- **Twitter**と**Web**サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！